

SSKO

社会福祉法人 はらからの家福祉会

われら同胞

NO.50



☆☆☆ 目次 ☆☆☆

- 2 p 「地域包括ケア」と4つの「助」という方向感
- 3 p 貸借対照表
- 4 p 決算報告
- 5 p さつき東元町商店会合同旅行等報告
- 6 p 賛助会コーナー

「地域包括ケア」と4つの「助」という方向感

はらからの家福祉社会理事／総合施設長 伊澤雄一

他国と比べてわが国の高齢化の勢いはますます、お年寄りを現役世代が支える形が、数十年前は多数の現役世代が一人のお年寄りを支えるいわば「騎馬戦型」(おおむね3人で1人を支える)、さらにこの先「肩車型」(1人が1人を支える)になることが見込まれ、ついには支えられる高齢者が支える側に立つことも想定されています。

こうした先々の状況不安を克服する「地域包括ケア」という言葉を最近よく耳にします。社会保障全般を覆う言葉として用いられ、先々の社会保障や福祉制度そのものがもたないという危機感も手伝い、今後の在宅福祉を推進していく基本として浸透しつつあります。

要は、医療・介護というジャンルを超え、総合的、包括的に提供していく体制づくりを意味しており、これを成り立たせる要素として4つの「助」が挙げられています。それは「公助(公的支援)・共助(保険などの分かち合い)・自助(自分で対応)・互助(支え合い)」というものです。

「公助」は福祉施設や生活支援事業などを税金により賄うことであり、広く社会保障全域に広がっています。

「共助」は医療保険や介護保険のように、相応の負担の中でリスクを分かち合うものです。

「自助」と「互助」は近年、「共生社会の創造」とともに強調の度合いを深めており、言葉の響きは情緒的安心を抱かせるもので、実際とても大切な要素とも思えるものの、要は自力で他の人ともつながりながら対処しなさいということであり、自己対応力と自己責任を際立たせた、公的責任を放棄したある種の放任主義にもとづく姿勢と言うべきものです。

社会保障は国の根幹、国家の礎です。

先進諸外国では多くの費用を割きながら「公助」「共助」制度の拡充に力を注いでいますが、わが国の社会保障費はOECD(先進工業国34か国)の中で下位にランキングされており、特に障害者福祉はGDP(国民総生産)比27位という体たらくです。

この根本に対する評価や見直し抜きに、

「自助」「互助」を強めることには大きな違和感を禁じ得ません。

次年度より精神障害の方々も、この「地域包括ケア」の対象とする方向感が示されており、長期入院の解消とともに地域での生活を支えるための検討や仕組みづくりが進展しています。ただ他の障害福祉分野に大きく遅れをとっている分野だけに、依然として「公助」「共助」の強力な後押しが必要であり、「自助」「互助」頼みでは済まないということを強く意識してほしいと切に思う次第です。



5月25日開催された理事会及び6月15日開催された定時評議員会において、平成28年度決算が承認されましたので法人全体の決算書（財務3表）をお知らせ致します。
両日共に丹野監事から監査報告があり、承認されております。

貸借対照表

平成29年3月31日 現在

社会福祉法人 はらからの家福祉会

単位：円

勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
資産の部				負債の部			
流動資産	99,697,232	90,492,872	9,204,360	流動負債	9,528,178	9,444,268	83,910
現金預金	71,672,972	63,840,734	7,832,238	事業未払金	285,920	414,638	△ 128,718
事業未収金	23,936,244	23,221,087	715,157	1年以内返済予定 設備資金借入金	2,140,000	2,140,000	0
未収金	0	12,000	△ 12,000	未払費用	767,325	827,869	△ 60,544
未収補助金	3,407,872	2,720,000	687,872	職員預り金	0	60,194	△ 60,194
前払費用	680,144	699,051	△ 18,907	賞与引当金	6,334,933	6,001,567	333,366
固定資産	160,797,461	155,628,917	5,168,544	固定負債	14,326,860	16,774,556	△ 2,447,696
基本財産	116,773,845	117,362,292	△ 588,447	設備資金借入金	1,200,000	3,340,000	△ 2,140,000
土地	60,312,050	60,312,050	0	退職給付引当金	10,186,860	10,580,200	△ 393,340
建物	56,461,795	57,050,242	△ 588,447	長期預り金	2,940,000	2,854,356	85,644
その他の固定資産	44,023,616	38,266,625	5,756,991	負債の部合計	23,855,038	26,218,824	△ 2,363,786
建物	4,033,240	4,051,692	△ 18,452	純資産の部			
構築物	1	1	0	基本金	40,290,959	40,140,959	150,000
機械及び装置	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	73,724,895	73,219,979	504,916
車両運搬具	1,351,418	1,729,821	△ 378,403	その他の積立金	18,450,000	13,200,000	5,250,000
器具及び備品	2,943,613	1,876,888	1,066,725	工賃変動積立金	300,000	300,000	0
権利	8,000	8,000	0	設備等整備積立金	150,000	900,000	△ 750,000
退職給付引当資産	10,186,860	10,580,200	△ 393,340	施設・設備整備費等積立資産	18,000,000	12,000,000	6,000,000
長期預り金積立資産	2,940,000	2,854,356	85,644	次期繰越活動増減差額	104,173,801	93,342,027	10,831,774
工賃変動積立資産	300,000	300,000	0	(うち当期活動増減差額)	(16,081,774)	(22,399,488)	(△ 6,317,714)
設備等整備積立資産	150,000	900,000	△ 750,000				
施設・設備整備費等積立資産	18,000,000	12,000,000	6,000,000				
差入保証金	3,980,023	3,930,023	50,000				
長期前払費用	120,461	25,644	94,817				
その他の固定資産	10,000	10,000	0	純資産の部合計	236,639,655	219,902,965	16,736,690
資産の部合計	260,494,693	246,121,789	14,372,904	負債及び純資産の部合計	260,494,693	246,121,789	14,372,904

社会福祉法人 はらからの家福祉会

平成28年度決算報告

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

単位:円

資金収支計算書			
勘定科目		法人合計	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	4,701,997
		障害福祉サービス事業収入	169,101,428
		借入金利息補助金収入	122,127
		経常経費寄附金収入	656,611
		受取利息配当金収入	1,203
		その他の収入	6,175,492
		事業活動収入計(1)	180,758,858
		支出	人件費支出
	事業費支出		5,222,524
	事務費支出		41,561,059
	就労支援事業支出		4,070,709
	支払利息支出		122,127
	その他の支出		0
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		21,354,165
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	2,092,000
		施設整備等寄附金収入	150,000
		固定資産売却収入	0
		その他の施設整備等による収入	0
	施設整備等収入計(4)		2,242,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出	2,140,000
		固定資産取得支出	3,326,143
		その他の施設整備等による支出	0
施設整備等支出計(5)		5,466,143	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 3,224,143	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	3,694,406
		拠点区分間繰入金収入	591,500
		その他の活動による収入	1,400,000
		その他の活動収入計(7)	
	支出	積立資産支出	8,636,710
		拠点区分間繰入金支出	591,500
		その他の活動による支出	5,085,907
		その他の活動支出計(8)	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 8,628,211	
予備費支出(10)		0	
当期資金収支差額合計(11=3+6+9-10)		9,501,811	
前期末支払資金残高(12)		89,031,245	
当期末支払資金残高(11)+(12)		98,533,056	

*紙面上、当期合計のみ表示

事業活動収支計算書				
勘定科目		法人合計		
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	4,701,997	
		障害福祉サービス事業収益	169,101,428	
		経常経費寄附金収益	656,611	
		その他の収益	6,024,250	
		サービス活動収益計(1)		180,484,286
		費用	人件費	108,368,300
	事業費		5,230,554	
	事務費		41,506,207	
	就労支援事業費用		4,701,997	
	減価償却費		2,563,425	
	国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 1,587,082	
	サービス活動費用計(2)		160,783,401	
	サービス活動増減差額(3=1-2)		19,700,885	
	サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	122,127
受取利息配当金収益			1,203	
その他のサービス活動外収益			151,242	
サービス活動外収益計(4)			274,572	
費用		支払利息	122,127	
		その他のサービス活動外費用	0	
サービス活動外費用計(5)		122,127		
サービス活動外増減差額(6=4-5)		152,445		
経常増減差額(7=3+6)		19,853,330		
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	2,092,000	
		施設整備等寄附金収益	150,000	
		固定資産売却益	0	
		特別収益計(8)		2,242,000
	費用	基本金組入額	150,000	
		固定資産売却損・処分損	7	
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 2	
		国庫補助金等特別積立額	2,092,000	
		その他の特別損失	3,771,551	
		特別費用計(9)		6,013,556
特別増減差額(10=8-9)		△ 3,771,556		
当期活動増減差額(11=7+10)		16,081,774		
前期繰越活動増減差額(12)		93,342,027		
当期末繰越活動増減差額(13=11+12)		109,423,801		
その他の積立金積立額(14)		5,250,000		
次期繰越活動増減差額(15=13-14)		104,173,801		

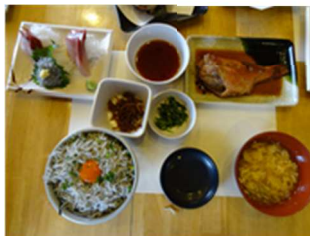
*紙面上、当期合計のみ表示

東元町商店会の皆さんと合同旅行に行ってきました

毎年恒例の東元町商店会の皆さん、AnnBeeの皆さんと茨城方面に旅行に行ってきました！
メロン狩りをしたり、漁港では美味しい料理をおなか一杯食べ、車中はカラオケ大会で盛り上がりました。

甘くて美味しい
メロンでした♡

大洗水族館
お見事！



バスの中は
カラオケ大会♪



お昼は海鮮定食！



国分寺イメージキャラクター
「ぶんじほたるホッチ」商品も好評発売中！
わんぱくの商品の紹介

はらからの家福社会賛助会コーナー

はらからの家福社会賛助会は、社会福祉法人はらからの家福社会の運営の維持・発展のために支援・協力することを目的として、主に財政的支援・協力の活動を行っています。

当会の趣旨にご賛同いただける方の入会をお待ちしております。会費は年間1口2千円からで何口でも可能です。会員の皆様には「われら同胞(本誌)」を送付しているほか、年に一度懇談会を開催し、会計報告・活動報告を行っております。皆様の会費は毎年取りまとめてはらからの家福社会に寄付させていただいております。

入会を希望される方は、下記口座に会費をお振込ください(同封の振込用紙も使えます。)

郵便振替口座番号
00180-8-130179
加入者名：はらからの家福社会賛助会

会費を納入いただいた方の名前を本誌に掲載させていただいております。

匿名希望の方はその旨通信欄にお書きください。

<平成29年度4月から7月の間に賛助会費をご納入頂いた皆様(順不同 敬称略)>

相澤 和美 朝倉 さく 池谷 敏子 井上 洋子 上柳 明子 大谷 泰造 岡本 公子 桂田 稔彦
熊谷 寿子 小林 輝雄 佐藤 佳子 佐藤 久夫 須長 靖夫 高見 法孝 高山 俊子 丹野 章子
中村 典男 萩原 久丸 服部 洋三 浜野 徹二 春口 明朗 平松 史朗 峯岸 桂一 宮城 伸子
森田 忠男 森 美知子 山内 慈水 窪田 恭 藤田 綾 山川 進 吉田 稔 河崎 弘太郎
堯原 ミチ子 中田 有智子 野々瀬 悟子 服部 百合子 藤野 利太郎

(有)興洋エステート レタスの会 立川聖パトリック教会 にしの木クリニック
東京ヤクルト販売(株) 瑞穂事業所 (株)円グループ (社福)多摩棕櫚亭協会

匿名7名

はらからの家福社会賛助会
懇談会開催のお知らせ

日時 平成29年11月30日(木)
午後4時～5時半
会場 ピア国分寺 1階 交流室
国分寺市南町3-4-4
はらからの家福社会賛助会
代表 朝倉 さく

第31回精神保健福祉講座

日時 平成30年2月24日
会場 本多公民館
テーマ 今後始まる「地域包括ケアシステム」における、高齢者の領域と精神保健福祉の共通している課題の整理と取り組みについて(仮)

講師紹介 上野 秀樹氏(精神科 医師)
敦賀温泉病院(福井県敦賀市)・社会福祉法人ロザリオの聖母会 海上療養所(千葉県旭市)・千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部 特任准教授であり、内閣府障害者政策委員会委員としてご活躍されている精神医。国が目指す「在宅中心」の体制作りに取り組み、注目を集める。認知症の方も精神障害者の方も、在宅で生活していけるということを主張し、精神病棟転換型居住施設への反対等を発信されている。

予告!

【編集人】社会福祉法人はらからの家福社会
〒185-0021 東京都国分寺市南町3-4-4 TEL 042-323-5637
【発行人】障害者団体定期刊行物協会
〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17-102
【定 価】¥120

<編集後記>
秋らしくなってきました。
食欲の秋、読書の秋…
季節を楽しんでいきたいですね。

編集委員一同